

[第4回発明発見教室「DNAを取り出そう」を開催しました](#)

投稿日時: 2014-03-17 17:22:13 : [平成25年度の話題](#)

3月9日(日)に、第4回発明発見教室「DNAを取り出そう」を開催しました。この教室はいわき市の小中学生を対象とした科学・工作教室であり、毎年開催するものです。

(主催:福島高専、いわき市)

今回の教室では、タマネギやバクテリアからDNAを取り出し、その性質や遺伝子との関係を、実験を通して学ぶものです。タマネギの細胞が、DNAの情報で作られたタンパク質によって活発に活動しているところを観察したり、取り出したDNAがマイナスの電気を帯びていることを、プラスの電気を帯びた色素と結合させる実験で確かめました。また、バクテリアが光るのは、導入された小さなDNA分子が原因であることを電気泳動で調べました。

参加した中学生にとっては、高度な高専の授業を体験できる良い機会となりました。



取り出したDNAの性質を調べている様子

[0コメント](#)

[第20回東北地区高等専門学校文化部発表会で特選を受賞しました](#)

投稿日時: 2014-02-03 10:29:02 : [平成25年度の話題](#)

第20回東北地区高等専門学校文化部発表会での受賞について

【写真の部】

特選 「想いのつまった雫」 海原 1M
入選 「スポットライト」 草野 4M
入選 「青夜の光たち」 高橋 3E
入選 「蒼の静寂」 小川 3E

特選 海原 1M

1年生でこのような賞をいただけてとても嬉しいです。この結果に恥じないように来年度も今年度以上しっかりと活動し知識や技術を学んでいきたいです。

入賞 草野 4M

賞は1年間の自分の取り組みがはっきりと表れるものだと思います。入賞して嬉しい反面悔しさもあります。来年度はどんな写真が撮れるか楽しみです。

入賞 小川 3E

今までの活動が評価されてる結果となって嬉しく思います。今年は特選は取れませんでした。来年度は自分らしい個性を出した写真でこのコンテストに挑戦してみたいと思います。

入選 高橋 3E

二年連続の入選、とても嬉しく感じています。今回のこの作品は、福島県の誇る美しい三春の滝桜を表現したものでした。地元の美しい風景がこうして賞を頂けるのも、私の誇りであります。これからも福島県の美しい風景を取り続けて行こうという気持ちになりました。

顧問 布施雅彦

第20回東北地区高等専門学校文化部発表会で、5つの賞の中で4つも受賞でき、日頃からの取組みがコンテスト等で認められ嬉しく思います。

また、特選は7年連続になりますが、驕らず被写体に向かって邁進して行きたいと思います。一期一会の一瞬を切り取る感性を技術者教育の物作りに反映できればと思います。



[0コメント](#)

[発明発見教室「手作りカメラで撮影会\(2回目\)」を開催しました](#)

投稿日時: 2014-01-16 13:30:20 : [平成25年度の話](#)

1月13日(月・祝日)に、第5回発明発見教室「手作りカメラで撮影会(2回目)」を開催しました。この教室はいわき市の小中学生を対象とした科学・工作教室であり、毎年開催するものです。(主催:福島高専、いわき市)「手作りカメラで撮影会」は今年8月に続いて2回目の開催になります。

今回の教室では、写真の原理を学び、実際に自分たちでピンホールカメラを製作して、写真を撮影するものです。当日は天候にも恵まれ、受講者は満足のいく写真を撮影することができました。



写真撮影の様子

撮影した写真を現像

[0コメント](#)

[公開講座「☆LEDクリスマスプレートを作ろう☆」を開催しました](#)

投稿日時: 2014-01-16 13:25:08 : [平成25年度の話](#)

12月14日(土)に、モノづくり教育研究支援センター公開講座「☆LEDクリスマスプレートを作ろう☆」を開催しました。

本講座は市内小学5年生から中学3年生を対象とした、機械と電気の工作を組み合わせるモノづくり体験講座です。ツリーが7色に輝き、飾り付けや雪が交互に光りクリスマスをきれいに彩ります。

学内の新設機器(マシニングセンター、レーザー加工機、基盤カッター等)を使用したオリジナル部品を、機械工作では手仕上げ(ネジ切、ヤスリがけ)、電気工作では電子回路の製作(はんだ付

け)を行い、名前が刻まれたネームプレートを組み上げました。参加者は自分で制作したイルミネーションに感動していました。

前年度は20名での開催でしたが応募者多数のため、今年度は午前(中学生)午後(小学生)の2部制を取り入れ42名の方にご参加頂きました。今後も新しいモノづくり講座を開きますので、是非ご参加の方お待ちしております。



☆クリスマスプレート☆

記念撮影

(中学生：午前)



記念撮影(小学生：午後)

[0コメント](#)

[公開講座「ビー玉スターリングエンジン制作教室」を開催しました](#)

投稿日時: 2013-12-24 16:57:23 : [平成25年度の話題](#)

12月21日(土)に公開講座「ビー玉スターリングエンジン制作教室」を開催しました。まず一色教員よりスターリングエンジンの動作原理や制作手順についての説明が行われ、続いて小出教員と福崎職員の指導のもと、補助学生の介添えを得て、ボール盤などによる機械加工から制作作業を行いました。途中で昼食休憩を挟んで2時20分に作業が終了し、参加者20名全員のスターリングエンジンが完成しました。

熱源のローソクを取り付けて動作確認実験を行ったところ、数台動かないエンジンがありましたが、バランス調整修理により、最終的に全てのエンジンが作動しました。3時にほぼ成功裏に閉会しました。





[0コメント](#)

[発明発見教室「光るクリスマスツリーを作ろう」を開催しました](#)

投稿日時: 2013-12-20 12:42:57 : [平成25年度の話](#)

12月15日(日)に、第4回目発明発見教室「光るクリスマスツリーを作ろう」を開催しました。この教室は、いわき市との提携事業であり、毎年開催するものです。(主催：福島高専、いわき市)

今回の教室では、ブラックライト及び蓄光シートを使った実験から可視光線、不可視光線について学び、この原理を使い紫外線LEDと蛍光塗料で「光るクリスマスツリー」製作を行いました。参加者は、暗間で幻想的に輝くクリスマスツリーに感動していました。



[0コメント](#)

[第13回 福島県中学生ロボット競技会を開催しました](#)

投稿日時: 2013-12-04 09:36:28 : [平成25年度の話](#)

第13回 福島県中学生ロボット競技会が、おかげさまで無事、終了いたしました。中学校8校・16チームにご参加いただき、また、多くの方々に観戦に来ていただき、大変楽しく、有意義な競技会になったと思います。

中学生の皆さんにロボットの作成に興味を持っていただき、本競技会に参加していただいたことをうれしく思います。本競技会をとおして、仲間と協力する大切さや、目標をめざしてがんばる楽しさを実感していただけたならば幸いです。

熱心にご指導いただきました各校の先生方、ご理解とご支援をいただきましたご父兄の皆様にご心より感謝申し上げます。

来年度の大会実施に向けて改善できるところは改善し、さらに良い大会にしたいと思います。今後とも、ご協力・ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

【競技結果】

<総合成績>

- ・総合優勝 小名浜第一中学校A
- ・総合2位 中央台南中学校A
- ・総合3位 小名浜第一中学校B

<種目別成績>

「スラローム競技」

- ・1位 小名浜第一中学校A
- ・2位 湯本第一中学校A
- ・3位 中央台北中学校A

磐崎中学校A

中央台南中学校B

<特別賞>

- ・アイデア賞 磐崎中学校A
- ・敢闘賞 湯本第一中学校A

「つみき競技Ⅲ(改)」

- ・1位 小名浜第一中学校A
- ・2位 中央台南中学校A
- ・3位 小名浜第一中学校B



(競技の様子)

[0コメント](#)

[協力会企業による会社説明会を開催](#)

投稿日時: 2013-12-02 12:46:41 : [平成25年度の話題](#)

福島高専男女共同参画・キャリア支援室は、福島高専協力会と連携した「福島高専協力会企業による会社説明会」を11月29日(金)に同校の第一体育館において、本科4年生と専攻科1年生を対象に開催しました。

この会社説明会は、再来年度就職を予定している学生が就職活動に備えて、地域で発展する企業の人事担当者の方々との面談をとおして、さまざまな企業の業務内容を理解することや就職に対する心構え、意識の高揚などを目的に、平成21年度から行っており、今年度は22の企業と117名の学生が参加しました。参加した学生は、企業の概要や企業が求めている人材像などの説明を真剣に聞き入り、今後本格化する就職活動に向けて気持ちを新たにしていました。



(説明会の様子)

[0コメント](#)

高専ロボットコンテスト全国大会の結果

投稿日時: 2013-12-02 12:36:51 : [平成25年度の話題](#)

11月24日(日)に東京 両国国技館において、高専ロボコン2013全国大会が開催されました。本校からはロボット名「サルク・ドウ・ソレイヌ」小野 敬裕(3年機械工学科)、鳥羽 祐丘(2年機械工学科)、星 柁充(2年物質工学科)のチーム(指導教員:物質工学科 天野仁司、機械工学科 鈴木茂和)が出場しました。

なお、東北地区大会同様、ロボットの製作は、ロボット技術研究会の学生たちが協力して行いました。また、多くの方のご協力もいただきました。ここに厚く御礼申し上げます。

<結果>

1回戦では、全地区大会で最速のタイムを出している奈良高専のチーム(本大会準優勝)と対戦しましたが、先にゴールされ敗退しました。目玉であるバク宙もロボットの不具合のため、試合の中では披露できませんでしたが、試合後のアイデア披露では、会場の大きな期待に応えることができました。

また、ロボットとは直接関係ありませんが、ロボットの紹介ビデオ(製作:ロボット技術研究会、2年電気工学科 大家 玲奈)が会場を盛り上げ、ベスト・ビデオ賞を受賞しました。

<お知らせ>

なお、全国大会の様子は、平成25年12月21日(土)午後4時～4時59分 NHK総合にて放送される予定です。



(テストランの様子)



(試合を待つロボットと学生)

[0コメント](#)

[第6回 先端ものづくりチャレンジ2013 イン習志野ロボット競技部門で、分子生物学愛好会のチームが最優秀賞を受賞しました](#)

投稿日時: 2013-12-02 11:20:12 : [平成25年度の話](#)

12月1日(日)に千葉県習志野市モリシアホールにおいて、第6回 先端ものづくりチャレンジ2013 イン習志野(主催:習志野商工会議所、千葉工業大学、NPO法人国際ロボフェスタ協会)ロボット競技部門が開催されました。

本校からはロボット名「ふみちゃん2013」小林 翠(4年物質工学科)、菅原 佳奈(3年物質工学科)、齊藤 玲子(2年物質工学科)、笹川 桃佳(1年物質工学科)、清水 和恵(1年物質工学科)の分子生物学愛好会の遠征チーム(指導教員:物質工学科 天野仁司)が出場しました。

<結果>

大学、高校、中学などの19チームが参加した予選を通過し、6チームによる本選に進出しました。

本選では、競技点44点(50点満点)を獲得し、最優秀賞を受賞しました。



(最優秀賞の受賞)



(競技の様子)

[0コメント](#)

[東北工学教育協会高専部会主催「産学交流の日」を開催しました](#)

投稿日時: 2013-11-13 19:14:34 : [平成25年度の話](#)

平成25年11月7日(木)、いわきワシントンホテルを会場に、東北工学教育協会高専部会主催「産学交流の日」を開催しました。

「産学交流の日」は、東北地区における高専教育の充実・発展を図り、併せて地区高専教職員相互並びに産業界との交流促進を目的とし、毎年、東北工学教育協会の高専部会が主催しているもので、今年度は本校が主幹校となり開催し、東北の各高専教職員や企業等、約50名が参加して、東北の産学連携と人材育成について理解を深めました。

引き続き行われた、立食形式の交流会にも、多くの方がご参加いただき、活発な情報交換が行われ、大変盛会となりました。

プログラム

基調講演

「福島環境回復に向けた原子力機構の取り組み－研究開発と人材育成－」

講師：独立行政法人日本原子力研究開発機構福島技術本部福島環境安全センター長 石田 順一郎 氏

事例発表(震災からの復興へ向けて)

事例発表1「震災からの復興に向けた人材育成－福島大学の取り組み」

発表者：うつくしまふくしま未来支援センター長 中井 勝己 氏

事例発表2「震災復興支援の取組みと地域産業の創出」

発表者：一関工業高等専門学校機械工学科嘱託教授 佐藤 清忠 氏

事例発表3「東北地域高専連携による震災復興のための人材育成プロジェクト」

発表者：仙台高等専門学校地域人材開発本部特命教授 吉田 徹 氏

事例発表4「地域復興人材育成と産業振興」

発表者：福島工業高等専門学校副校長(教務主事)・地域復興支援室長 青柳 克弘



会場の様子



挨拶する福島工業高等専門学校校長・奈良宏一



挨拶する東北工学教育協会会長・金井浩 氏



講演する独立行政法人日本原子力研究開発機構
福島技術本部福島環境安全センター長・石田順一郎 氏



交流会の様子

[0コメント](#)

[公開講座「充電式飛行機を飛ばそう」を開催しました](#)

投稿日時: 2013-10-28 17:15:11 : [平成25年度の話題](#)

10月6日にモノづくり教育研究支援センター主催の公開講座「充電式飛行機を飛ばそう」が開催されました。この講座は、小・中学生がモノづくりに興味を持っていただけるように、自分の手で飛行機を製作し、体育館にて記録会を行いました。

当日は、午前中に飛行機が飛ぶ原理や充電の仕組みを説明し、飛行機の製作・組立を行い、午後には、体育館で記録会を実施しました。全員が怪我なく完成させることができました。記録会では、自分が作った飛行機が飛んでいる嬉しそうに眺めている受講生の姿が印象的でした。モノづくり教育研究支援センターでは、年に数回、このようなモノづくりの講座を実施して行く予定ですので、皆様のご応募お待ちしております。





[0コメント](#)

[いわき地区高等学校写真連盟写真展が、いわき市生涯学習センターで開催されました。](#)

投稿日時: 2013-10-04 10:53:12 : [平成25年度の話題](#)

10月1日～3日に、いわき地区高等学校写真連盟写真展が、いわき市生涯学習センターで開催されました。市内7校の写真部に所属する生徒の約200点の作品の中からコンテストが行われ、福島高専写真部の学生が、特選1、準特選2、入選6と13ある賞の中で9つの作品が入賞しました。また、4年連続で特選を受賞することができました。

磐陽祭でも展示しますので、ぜひ見に来てください。

特選1

蒼の静寂 電気工学科3年 小川

準特選2

鈍色の響 電気工学科3年 小川

美々しく艶やかに 電気工学科3年 高橋

入選6

鋼鉄の夜 電気工学科3年 小川

あなたがわたしの幸せだから 電気工学科3年 高橋

勿忘草の平原 電気工学科3年 高橋

雨下のカラフルサークル 建設環境工学科2年 下谷

Night Spark Drop! 建設環境工学科2年 下谷

天色の世界 機械工学科1年 永山



[0コメント](#)

[発明発見教室「ゲルマニウムラジオを組み立てよう！」を開催しました](#)

投稿日時: 2013-10-02 14:40:10 : [平成25年度の話題](#)

第3回発明発見教室「ゲルマニウムラジオを組み立てよう！」を9月23日(月・祝日)に開催しました。この教室は、いわき市との提携事業であり、毎年開催するものです。(主催：福島高専、いわき市)

電源のないラジオから聞こえてくる音声に、参加者は大変感動している様子でした。
なお、今年度は今後この教室を(毎回内容は異なります)を3回実施する予定です。



[0コメント](#)

[学校開放事業「福島県ブリッジデザインコンテスト」を開催しました。](#)

投稿日時: 2013-09-20 13:48:40 : [平成25年度の話](#)

福島工業高等専門学校とアカデミア・コンソーシアムふくしま(ACF)の共同主催で、福島県、福島県教育委員会等の後援のもとに、平成25年度福島高専「学校開放授業」の一環として「福島県中学生ブリッジデザインコンテスト」を実施しました。

例年通りの3回シリーズの「講座とコンテスト」として、第1回「学んで」8月17日(土)、第2回「作って」8月31日(土)、第3回「コンテスト」9月14日(土)に、県内14中学校から32名が参加しました。参加者からは、「多少むずかしい内容ではあったが、楽しく勉強できた。」との感想が多く寄せられました。受講の状況も、細く華奢なバルサ材から、より強い構造を作るのに悪戦苦闘しながらも、皆熱心に取り組んでいました。作品はそれぞれに工夫をこらした力作が多く、特に上位入賞者の作品などは、部材を効率的に使ったものや、効果的な局所強化策を的確に取り入れたものなど、アイデアが盛り込まれたものとなっており、中学生の発想の柔軟さと、体験的に構造の性質を把握する鋭さに驚かされるものが多かったです。

平成25年度 福島県中学生ブリッジコンテスト 入賞者一覧

総合第1位:平第一中学校柳沼 優騎(ヤギヌマ ユウキ)

総合第2位:平第二中学校小林 千莉(コバヤシ セリ)

総合第3位:植田中学校渡邊 紫音(ワタベ シオン)

デザイン賞:植田中学校富岡 真司(トモカ シンジ)

強度賞:平第三中学校橋本拓実(ハシモ トクミ)

性能賞:平第三中学校志賀 純貴(シガ アツキ)

機能賞:平第二中学校根本 優作(ネモ ユウサク)

[「福島県中学生ブリッジデザインコンテスト」結果一覧\(PDF\)](#)



[0コメント](#)

[学校開放事業 第8回中学生プログラミングコンテスト が開催されました](#)

投稿日時: 2013-09-09 17:27:07 : [平成25年度の話題](#)

9/7(土)に、本校主催「第8回中学生プログラミングコンテスト」が開催されました。

11チーム29人の中学生が参加し、初級・中級・上級あわせて20問の基本問題、応用問題に挑戦し、プログラミングの腕を競いました。

優勝は平三中学校（高島さん、伊東さん、大滝君）のチームで、このコンテスト史上初の全問正解でした。2位も平三中（清野さん、高木君、野寺君）で、3位は内郷一中（白嶋君一人のチーム）でした。



[0コメント](#)

[福島高専 第2回 発明発見教室「手作りカメラで撮影」を開催しました。](#)

投稿日時: 2013-08-29 15:46:09 : [平成25年度の話題](#)

8月25日(日)に、第2回発明発見教室「手作りカメラで撮影」を開催しました。

(主催：福島高専・いわき市、協力団体：サイエンス工房、指導：物質工学科教員 天野仁司)

この教室は、いわき市の小中学生を対象とした科学・工作教室で、写真の原理を学び、実際にピンホールカメラを製作して、写真を撮影するものです。構造が簡単なカメラで写真をとるには調整が大切で、受講者は、撮った写真を見て、もっと綺麗な写真を撮るにはどうすればよいか、いろいろと工夫するなどして、レンズのないピンホールカメラとは思えないような作品をたくさん生み出していました。



ピンホールカメラ作成



撮影の様子

[0コメント](#)

[公開講座「中学生のためのプログラミング入門」が開催されました。](#)

投稿日時: 2013-08-26 16:24:24 : [平成25年度の話題](#)

この8月22日(木)、23日(金)の2日間、公開講座「中学生のためのプログラミング入門」が開催されました。約60名の地元中学生が参加し、2教室に分れて「10進Basic言語」によるプログラミングを勉強しました。

「楽しかった」「難しかったけど楽しかった」という声が多く聞かれました。

受講者の何人かは9月7日(土)に開催される「第8回中学生プログラミングコンテスト」にも参加する予定です。



[0コメント](#)

[学校開放事業 平成25年度「第4回中学生英語スピーチコンテスト」を開催しました](#)

投稿日時: 2013-08-02 10:28:00 : [平成25年度の話題](#)

去る7月27日(土)に本校開放事業第4回中学生英語スピーチコンテストが本校の会議室を会場に開催しました。今年は市内外の7中学校から9名が参加しました。題は自由で、5分以内のスピーチで競い合いました。

スピーチの内容がかなり充実しており、原稿作成の段階で相当の努力がなされたものと推測されます。またそれを多くの人前で説得力を持って発表できるようにするために、かなり練習を積んでいるようでした。

出来栄は、個人的に多少差はあったものの、どの参加者も一つの事をやり遂げたという達成感を強く感じているようでした。



英語でスピーチする参加者

参加者による記念撮影

[0コメント](#)

[発明発見教室「ゲルマニウムラジオを組み立てよう！」を開催しました](#)

投稿日時: 2013-07-04 15:12:50 : [平成25年度の話](#)

6月30日(日)に福島高専・いわき市主催の発明発見教室「ゲルマニウムラジオを組み立てよう！」を開催しました。今回の講座は発明発見教室の第1回目であり、今年度もいろいろなテーマで6回実施する予定です。

当日は小中学生の皆さんに参加していただき、導線を巻いてコイルをつくったり、はんだ付けをして回路をつくったりして、電池不要のラジオを組み立て、実際にラジオを聴いてみました。電池がないのに音が聞こえるところが不思議ですね。担当は、物質工学科教員の天野と、物質工学科の1, 3年生8人でした。

次回は8月下旬に「手作りカメラで撮影会」を行う予定です。詳細は、近日このホームページでお知らせします。





はんだ付けで回路をつくろう

聴こえる！

[0コメント](#)

[公開講座「スイーツデコをつくって身近な材料『高分子\(ポリマー\)』を学ぼう！」を開催しました。](#)

投稿日時: 2013-07-03 16:54:37 : [平成25年度の話](#)

6月29日(土)に物質工学科主催の公開講座「スイーツデコをつくって身近な材料『高分子(ポリマー)』を学ぼう！」を開催しました。

この講座は、中学生を対象として、生活の様々な場面で使われている高分子(ポリマー)についての特徴や性質を理解してもらい、その1つとして発泡ウレタンによる「スイーツデコ」の製作に取り組みました。

当日は中学生33名に受講頂き、午前中は、高分子の特徴を理解するために中学校の理科より一段階進んだ化学と高分子に関する講義を受講してもらい、午後には、実際に発泡ウレタンによるスイーツデコの製作を行いました。発泡ウレタンのベースの上に、様々なデコレーションを施して、見事な作品を完成させていました。



物質工学科教員による化学の基礎に関する講義スイーツデコ製作の様子



デコレーションを施す完成した作品の一例

[0コメント](#)

[平成25年度 福島高専協力会定期総会を開催しました。](#)

投稿日時: 2013-06-21 16:47:06 : [平成25年度の話](#)

6月6日(木)、いわき商工会議所が、平成25年度福島高専協力会定期総会を開催しました。本協力会は、福島県浜通り地域、茨城県北茨城市の企業や商工団体で構成されており、会員と福島高専教職員72名が出席しました。

総会では、会長の中山哲夫いわき商工会議所副会頭、奈良宏一福島高専校長の挨拶の後、平成24年度の事業報告決算、平成25年度の教育研究の振興、連携・協力、技術開発及び技術支援などを内容とする今年度の事業計画等を決定しました。

その後、福島高専の事例紹介として、鈴木茂和准教授(機械工学科)より「福島県中学生ロボコンを開催して」、伊藤淳 准教授(電気工学科)より「大潟村ソーラーカーラリーに参加して」について発表がありました。引き続き行われた交流会では、新任教員の紹介が行われているなど、会員企業との交流が図られました。





協力会定期総会の様子伊藤 淳 准教授の事例紹介

[0コメント](#)

分子生物学愛好会の知能ロボット研究グループが第25回知能ロボットコンテスト2013に参加しました。

投稿日時: 2013-06-17 15:08:09 : [平成25年度の話題](#)

6月15日・16日に、仙台市科学館で行われた第25回知能ロボットコンテスト2013に分子生物学愛好会(指導教員:物質工学科 天野仁司)の知能ロボット研究グループの2チームが参加しました。

チーム「堀越くまさん Fundamental」、ロボット名「ふみちゃん」、チームメンバー:物質工学科4年 小林翠、同2年 宗像繭・齊藤玲子、同1年 笹川桃佳・清水和恵は、1次予選首位タイ通過、2次予選2位通過と頑張りましたが、決勝ではロボットが思うように動かず、6位でした。しかし、審査点は決勝進出10チーム中1位で、「真田賞」を受賞しました。

チーム「堀越くまさん nona」、ロボット名「Chibi 3」、チームメンバー:物質工学科3年 岩崎莉歩・菅原佳奈・西郷知樹も決勝に進出しましたが、こちらも本競技台ではロボットも緊張したのか思うように動かず、7位でした。しかし、審査点は決勝進出10チーム中3位で、「メカトロで遊ぶ会賞」を受賞しました。



Chibi3のセッティング

ふみちゃんのセッティング



Chibi 3の競技の様子

遠征メンバー

[0コメント](#)

[卓球部のインターハイ出場が決定しました！](#)

投稿日時: 2013-06-06 10:03:49 : [平成25年度の話](#)

第59回福島県高等学校体育大会卓球競技（期日：5月25日（土）～27日（月） 会場：いわき市立総合体育館）において本校卓球部がインターハイ出場権を獲得しました。今回出場を決めたのは男子シングルスで安齋正樹（建設環境工学科2年）、矢内智大（機械工学科2年）、女子シングルスで大浦悠（建設環境工学科2年）の3名です。また、東北大会へは男子団体、男子シングルス、男子ダブルス、女子団体、女子シングルス、女子ダブルスで出場するという活躍を見せました。福島県の代表として出場する全国大会、東北大会での活躍が期待されます。本校卓球部へのご声援をお願いします。

（本校の主な上位入賞者結果）

<男子団体> 第2位 … 東北大会出場

<男子シングルス>

準優勝 安齋正樹 … 全国大会、東北大会出場

第5位 矢内智大 … 全国大会、東北大会出場

<男子ダブルス>

第5位 安齋正樹・矢内智大 組 … 東北大会出場

<女子団体> 第2位 … 東北大会出場

<女子シングルス>

第5位 大浦 悠 … 全国大会、東北大会出場

第7位 齋藤佳菜子（コミュニケーション情報学科3年） … 東北大会出場

<女子ダブルス>

第3位 齋藤佳菜子・大浦 悠 組 … 東北大会出場



インターハイへ出場する3選手
(左から安齋、矢内、大浦)

奮闘する男子ダブルス 安齋・矢内 組

※写真は「いわき民報」（5月28日発行）の記事のものです。

[0コメント](#)

[陸上部の東北高校総体出場が決定しました！](#)

投稿日時: 2013-05-31 09:44:39 : [平成25年度の話](#)

第59回福島県高等学校体育大会陸上競技(期日:5月24日(金)~27日(月) 会場:開成山陸上競技場)において本校陸上部が好成績をあげ、東北高校総体への出場権を獲得しました。今回出場を決めたのは男子100m、200m、400m、400mハードル、4×400mリレー種目になります。

インターハイ出場をかけた東北大会での活躍が期待されます。

本校陸上部へのご声援をお願いします。

(本校の主な上位入賞者結果)

男子100m 第4位 古和口 廉(建設環境工学科2年)・・・東北大会出場

男子200m 第6位 古和口 廉(建設環境工学科2年)・・・東北大会出場

男子400m 第4位 古和口 廉(建設環境工学科2年)・・・東北大会出場
男子400mH 優勝 神部光(建設環境工学科3年)・・・東北大会出場
男子4×400mリレー 第5位・・・東北大会出場
(坂本 淳(機械工学科3年)、神部 光、作山巧次(電気工学科2年)、古和口廉、熊谷純樹(建設環境工学科3年)、鈴木陵太(電気工学科1年))

[0コメント](#)

[平成25年度 福島高専 後援会役員会・定期総会を開催](#)

投稿日時: 2013-05-22 14:33:16 : [平成25年度の話](#)

5月15日(水)福島高専 後援会役員会及び定期総会が開催されました。

役員会は大会議室で行われ、役員42名が参加し、審議を行いました。

午後から後援会定期総会を第1体育館で行い、始めに小松会長と奈良校長から挨拶がありました。議事では、平成24年度の学校行事報告と決算報告があり、平成25年度の学校行事計画や後援会予算案が提出され、承認されました。

また、平成24年度で退任された監査理事の佐藤巖さんへ感謝状の贈呈がありました。

総会終了後に、教育懇談会が行われ、教務主事・学生主事・寮務主事から話しがあり、各教室で学級懇談会を開催しました。

今年も多くの保護者の方が参加し、熱心に話しを聞いている様子が見受けられました。



後援会役員会



後援会定期総会



厳さん
表彰の様子

挨拶をする小松会長

監查理事の佐藤

[0コメント](#)

[内藤専門教育課長が福島高専復興人材育成事業を視察](#)

投稿日時: 2013-05-16 09:45:35 : [平成25年度の話題](#)

内藤専門教育課長は、5月2日(木)に福島高専を訪問され、文部科学省の大学改革推進経費「大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業」による復興人材育成事業の視察を行いました。内藤教育専門課長は、奈良校長から復興人材育成事業の実施体制等について説明を受けた後、同事業で整備したスマートグリッド実規模実験装置、放射線測定装置、GIS(地理情報システム)等の視察を行いました。

スマートグリッド実規模実験装置では、本年4月に入学した専攻科復興人材育成特別コース受講生から同装置のシミュレーション機能を用いた特別研究の概要説明を受け、GISでは卒業研究による地震・津波からの復興まちづくり研究等について学生から説明を受けました。

また、本事業により採用した特命教員との懇談及び本校に駐在している日本原子力研究開発機構福島技術本部の研究者から業務内容の説明を受けるなど熱心に視察され、復興人材育成による地域復興に期待を寄せました。



GISを用いた卒業研究を視察する内藤教育専門課長
説明を受ける内藤教育専門課長

学生からスマートグリッド実規模実験装置の

[0コメント](#)

[専攻科「復興人材育成特別コース」開講式を挙行了しました。](#)

投稿日時: 2013-05-08 11:53:15 : [平成25年度の話](#)

福島高専では、4月26日(金)専攻科「復興人材育成特別コース」の開講式を行いました。

開講式では、奈良校長の挨拶に続き文部科学省高等教育局金子視学官からお祝いの挨拶が述べられ、最後に受講学生16名を代表して機械・電気システム工学専攻1年大内田優理さんから復興への誓いが力強く宣誓されました。

式終了後、受講生と懇談会が開催され、各受講者からコース選択の志望動機や将来の進路などが報告され、来賓からは激励と期待の言葉が寄せられました。

また、開講式に先立ち、本事業で整備したスマートグリッド実規模実験装置、放射線測定装置等の見学会が実施されました。

なお、開講式には文部科学省から高等教育局金子視学官・黒澤専門教育課長補佐、高専機構から上月理事の他、福島県、いわき市行政経営部長・教育長、日本原子力研究開発機構から関係者が出席されました。





奈良校長の挨拶

金子視学官からのお祝いの挨拶



受講生宣誓

学内施設見学（左から上月高専機構理事・金子視学官・黒澤専門教育課長補佐）

[0コメント](#)

[平成25年度健康診断について](#)

投稿日時: 2013-05-08 11:03:39 : [平成25年度の話題](#)

4月11日(木)本校を会場に、本校全学年を対象とした健康診断を実施しました。本校では学校保健安全法に基づき、毎年4月に健康診断を行い学生の健康状態を確認しています。今年度も医師の指導のもと、各クラスごとに各教室に配置された検査場所にて、身長・体重の他、視力・聴力等の検査を行いました。今回の検査結果は、今後学生の体調を管理する上で貴重な記録になるとともに、本科5年生・専攻科2年生は、今後の進路活動を行う際に希望企業・大学へ提出する重要な資料になります。毎年の検査で成長期にある学生の身体は、一年間で著しく成長していることが伺え、検査を行った学生も、昨年度の検査からの変化を確認し自身の成長を実感している様子がみられました。

[0コメント](#)

[本校卒業生が東北大学総長賞を受賞しました。](#)

投稿日時: 2013-05-01 11:30:49 : [平成25年度の話題](#)

本校 電気工学科の卒業生 一ノ瀬 智浩さん(平成22年度卒)が、3月27日(水)に举行された「東北大学総長賞授与式」で表彰されました。「総長賞」は東北大学の教育目標にかなない、かつ、学業成績、研究業績等が特に優秀な学生に与えられる賞です。東北大学のホームページでは、学位記授与式及び授賞式の模様が動画で公開されていますので、下記のリンク先からご覧下さい。

東北大学 学位記授与式及び授賞式の模様(動画)はこちら↓



[授賞式の様子](#)



[東北大学総長賞を受賞した一ノ瀬 智浩さん](#)

[0コメント](#)

[\(1\) 2 »](#)

[福島高専について](#) [ニュース](#) [平成26年度の話題](#) [平成25年度の話題](#) [平成24年度の話題](#) [平成23年度の話題](#) [平成22年度の話題](#) [平成21年度の話題](#) [平成20年度の話題](#) [平成19年度の話題](#) [平成18年度の話題](#) [平成17年度の話題](#) [平成16年度の話題](#) [平成15年度の話題](#) [平成14年度の話題](#) [平成13年度の話題](#) [Topics](#) [本科紹介](#) [専攻科紹介](#) [シラバス](#) [付属施設の紹介](#) [学生会](#) [部活動等](#) [外部評価協力会](#) [アクセスサイトマップ](#)

[Fukushima National College of Technology.](#)

貼り付け元 <<http://www.fukushima-nct.ac.jp/modules/news/index.php?storytopic=21>>

[いわき平ロータリークラブから復興人材育成特別コース学生にパソコンが贈呈されました。](#)

投稿日時: 2013-04-26 09:17:50 : [平成25年度の話題](#)

福島高専専攻科の復興人材育成特別コースを選択した学生に、いわき平ロータリークラブから平成25年4月25日(木)の例会で15台(3年分)のノートパソコンが贈呈されました。

福島高専では、平成25年4月から専攻科に復興人材育成特別コースを開設し、原子力安全、再生可能エネルギー、減災の3分野の人材育成を行っています。この事業を支援し、学生を激励する目的でノートパソコンが供与されたものです。

当日は、福島高専の大槻専攻科長の引率で5名の学生が例会に出席し、山野辺いわき平ロータリークラブ会長から超薄型のノートパソコンを受け取りました。5名の学生は、会田崇人君、伊藤洋輔君、大平雅人君、佐藤勇人君、高木聖人君で、代表して大平雅人君がお礼の言葉と復興にかける思いを述べました。



国際ロータリー2530地区山守ガバナ補佐(左端)、山野辺会長(右端)と5名の学生



供与された超薄型ノートパソコン

[0コメント](#)

[「地元企業と福島高専の連携による地域振興」プロジェクト第1回企業見学会\(小名浜製錬\(株\)小名浜製錬所\)を開催しました。](#)

投稿日時: 2013-04-22 09:59:23 : [平成25年度の話](#)

4月17日(水)、小名浜製錬(株)小名浜製錬所において、「地元企業と福島高専の連携による地域振興」プロジェクト 第1回企業見学会を開催しました。本プロジェクトは、福島高専教職員が地元企業の事業内容・ニーズを知り、地元企業が高専のシーズを知ることを通じ、地元企業・福島高専が互いに交流・連携を図りながら地域の発展につなげていくことを目的とし開催され、本校教職員約30名が参加しました。

はじめに、正木好男副所長より概要説明を受けた後、最新鋭の製銅法といわれる「S炉」や回転鑄造機などの稼働状況を間近に見ることができ、参加者一同、銅の製錬事業を肌で実感することができました。また、シュレッターダストの再資源化活用や省エネルギーの徹底など時代の要請を取り込んだ企業努力の説明にも一同強い関心を示しました。見学後の懇談では、質疑応答に加えて本校卒業生とのコミュニケーションを図ることもでき、有意義な工場見学となりました。

なお、本企画は今後とも継続して開催していく予定です。



企業説明を受ける様子



工場見学の様子

[0コメント](#)

[第52回入学式及び平成25年度編入学式並びに第10回専攻科入学式が挙行されました。](#)

投稿日時: 2013-04-10 13:24:28 : [平成25年度の話題](#)

4月3日(水)、第52回入学式及び平成25年度編入学式並びに第10回専攻科入学式が本校第1体育館において行われ、本科学生208名、専攻科学生30名、編入学生5名の計243名が式に臨みました。

式では、奈良校長が式辞を述べ、本科入学者には「普段から保護者と相談し、自分が進む先を見据えながら、これからの勉学に励んで下さい」と、専攻科入学者には、「東日本大震災による被害を経験した方々であり、今年度から開講した復興人材育成特別コースを選択するか否かにかかわらず、専攻科で得た知識をどのように地域復興に貢献できるかをイメージしながら勉学に励んで下さい」と言葉を贈りました。

入学者宣誓では、機械工学科1年の大平 礼さん、機械・電気システム工学専攻1年の大内田 優理さんがそれぞれ新入生代表として宣誓しました。

最後には、本校吹奏楽部が祝奏、校歌の演奏を行い、入学を祝いました。





式辞を述べる奈良校長 本科代表入学者宣誓 機械工学科 1年
大平 礼（おおひら ひろと）さん



専攻科代表入学者宣誓機械・電気システム工学専攻 1年
大内田 優理（おおうちだ ゆり）さん

[0コメント](#)

[第3種放射線取扱主任者講習会を開催しました。](#)

投稿日時: 2013-04-01 15:46:55 : [平成25年度の話題](#)

福島高専では、文部科学省の「大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業」に採択されたことを受け、本校教職員を対象として、放射線に対する正しい知識を理解させることを目的に、昨年に引き続き、第3種放射線取扱主任者免状講習会を3月25日(月)と26日(火)の2日間にわたり実施しました。講習会では、原子力安全技術センターの職員等が講師となり、放射線等の概論・安全管理・人体に与える影響・法律等の講義を7時間受講後、放射線量の測定実習が3時間行われました。最終日には修了試験があり、受講した20名が合格しました。今後、福島高専では、さらに地域復興に向けたさまざまな活動を「福島高専地域復興支援室」中心に実施します。





放射線量の測定実習

講義の様子

[0コメント](#)

貼り付け元 <<http://www.fukushima-nct.ac.jp/modules/news/index.php?storytopic=21&start=30>>